

令和5年度 第3回木更津市文化財保護審議会 審議録

1. 会議名 令和5年度 第3回木更津市文化財保護審議会
2. 開催日時 令和6年3月15日（金）～3月25日（月）
3. 開催方法 書面審議
4. 出席者 文化財保護審議会委員 5名
古泉忠之（会長）、高崎芳美（副会長）、笹生 衛、御巫由紀、黒田加奈子
5. 報告事項
第1号 令和5年度木更津市文化財保護行政の概要について

審議結果報告

第1号 令和5年度木更津市文化財保護行政の概要について

3 指定文化財等の保護活用について

(3) 木更津市指定文化財「真武根陣屋遺址」の文化財案内板について

御巫委員

Jinya（文中4ヶ所）をジンヤ（陣屋）と読むのは難しい。他では Jin-ya、Jin'ya 等の例があります。

最後の2文について、

This is the site of Hayashi family's Jin-ya.

Hayashi family was a hereditary daimyo of 10,000 koku,
and ruled Jōzai Domain. The family held~

とした方が理解しやすいのでは。

黒田委員

真武根陣屋遺址の解説文について、日本の歴史の知識を備えない人々にとっては少し理解が難しいと感じました。現地で読む解説としては必要十分なのかもしれませんが、江戸時代の「陣屋」がどんな機能のある施設だったのかを示してくれると、遺址への関心が増すのではないかと思います。

事務局説明

ご意見をいただいた英文表記については、ご指摘の点を踏まえ修正いたします。また、文化財の解説文については、翻訳にあたり難解になってしまう傾向があります。わかりやすい表記に努めていきたいと考えております。

(5) 千葉県指定史跡「金鈴塚古墳」の補修・整備について

古泉委員

東側の民家との境界、北側境界の土砂の崩壊の心配はないのですか。

事務局説明

古墳周囲の状況は、長期間大きく変化しておらず、土砂の崩れは発生しておりませんが、今後とも古墳と駐車場の状況を定期的を確認し、適切な維持管理に努めて参ります。

古泉委員

見学者用駐車場ができて良かったですね。

事務局説明

古墳が幅の狭い市道に面しているため、これまでも見学者用駐車場の整備を望む声が多くありました。駐車場の整備により地域住民の安全性と古墳見学者の利便性を向上することができるようになります。

古泉委員

石室門扉アクリル板取付工事についてですが、アクリル板の右隅の部分の空間から、雨水が入っているようですが。

事務局説明

アクリル板の取付工事は、石棺（重要文化財）の人的毀損の防止と紫外線対策のため施工したものです。また、石室内部の高温化、高湿度化を防止するため、アクリル板の全面張りとはなっておりません。工事施工にあたり県文化財課と協議し、アクリル板の取り付け位置については、文化庁調査官の指導と了解をいただいております。

高崎委員

過日、真武根陣屋遺址と金鈴塚古墳の現地に行って状況を見てきました。金鈴塚古墳は整備が進んでかなり見やすくなっていますね。

御巫委員

金鈴塚古墳の補修、整備工事の完了良かったですね。

事務局説明

古墳の重要性を多くの方々にお伝えできるよう、今後とも古墳と駐車場用地の状況確認を定期的に行い、古墳の適切な維持管理に努めてまいります。

4 千葉県金鈴塚古墳出土品国宝化推進事業について

(1) 小学生向け金鈴塚古墳周知用資料の配布

古泉委員

小学生向け周知資料の配布についてですが、全児童が金鈴塚古墳について学習できることが重要と思います。遺跡、古墳の存在に気付くことが大切だと思います。アンケート結果から資料の有効性がわかります。

金鈴塚古墳の出土品が歴史上貴重なものであり、国宝につながるものと気

づくことに意義があると思います。そのためには子供たちだけではなく、指導者へ重要性を伝えることが大切であると思います。そして、木更津市に誇りを持ってほしいですね。

事務局説明

配布資料は、郷土の歴史を学ぶ授業で副教材となる周知用資料であり、市民にとって出土品が「市の宝」であるという意識が高まることを期待してのものです。出土品を良好な状態で保管し、多くの方々にその重要性を知っていただきたくことが重要であると考えております。

また、各小学校へ資料を配布する際に、担任の先生方に回答をお願いした、使用状況に関するアンケート結果を添付しております。

5 埋蔵文化財の発掘調査について

高崎委員

鶴ヶ岡遺跡の発掘調査報告書は、いつ頃刊行されるのでしょうか。

事務局説明

鶴ヶ岡遺跡の調査事業は、市道建設に伴うもので、令和6年度に本年度調査区の北側で 2,200 m²の調査を実施します。令和7年度に2か年の成果について整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行する予定となっております。

令和5年度木更津市文化財保護行政の全般について

笹生委員

文化財の保護・活用は適切に行われていると思います。引き続き、保護・活用について宜しく願いいたします。

事務局説明

委員の皆様よりいただきました意見等を踏まえ、次年度以降も対応して行きたいと考えております。

上記、令和5年度第3回木更津市文化財保護審議会の書面による審議について、確認したことを報告します。

令和6年3月29日

審議録署名人 木更津市文化財保護審議会

会長 古 泉 忠 之 印